

# 花咲き山

令和2年度  
飯豊町立飯豊中学校  
第1学年だより  
第13号  
2020.6.26  
文責：小松正義

## 気になる言葉 教育相談より

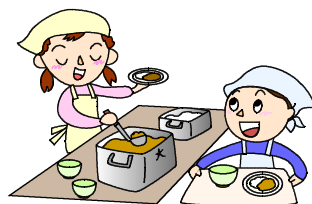
今週は教育相談期間、担任と子ども達が1対1で話し合う場が設けられました。今まで気づいていない一面を紹介してもらったり、普段は見せない悩みを打ち明けてもらったり、担任にとっても有意義な時間となりました。

そんな中、子ども達だけの時間の中で、次のような会話があったと聞き、お家の方と一緒に考えたいと思いました。

ある生徒の行動が遅く、みんなが終わっているのにその生徒だけができていなかった場面で「障害者みたい。」という言葉かけた生徒がいたという事です。これは明らかに差別用語です。昨今、黒人差別に対するデモが多く、多くの国で展開されている事を報じるニュースが見られます。白人が黒人を下に見ている行為に対する抗議です。歴史的な背景も大きく影響していますが、「人間はどんな立場でも平等のはずだ」という訴えです。今回の事も全く同じです。障害者を差別して見ている、自分より低い存在に見ているから出てくる言葉であり、言葉をかけられた生徒に対してだけでなく、障害と共に生活している方に対して、許されない事なのです。子ども達はそんなに、大きな意味を持つ比喩として受け止めていないのかもしれませんが、人権に関わる事でもあり、親子一緒に考えてみたい事例です。ぜひ、お子さんと話し合ってみてください。今日、学年集会で子ども達にも話をしました。

## 1年生奮闘中!

生徒会専門委員会の取組がいくつか行われています。給食委員会では、時間通りに準備し、後片付けをする取組です。要領が良くなる上級生ほど時間内にできるものなのですが、1年生が毎日パーフェクトを続けています。クラスの全員が、自分の仕事に責任を持ち、周りはしっかりサポートする、そんな姿が見られます。このまま成長し、来年は頼もしい先輩になってほしいと願っています。



## 「清掃講話」への感想

二組 遠藤 冬生

僕は、そうじに対して興味がありませんでしたが、今日の講話をお聞きして、家で掃除をしたいなあ、という気持ちになりました。また、実際にイヌをふく作業が、とてもためになりました。ふいたそうじさんは真黒になっていてびっくりしました。こんなに汚れているのだなと実感しました。

一組 齊藤 美紅

今日は、清掃のこと、特にほうきの前後など知らなかったのので、教えてもらってわかりました。今後しっかりと忘れないようにしたいです。メモする時にびっちり書けたので、書いた事をお母さんにも教えてあげたいし、学校の清掃、家での清掃でも活かして、きれいにそうじできるように頑張りたいです。そして、そうじ名人になりたいです。

二組 須貝 心結

いままでほうきを、下に立てていたんですが、「くせがつく」と聞いて、今までまちがっている行動をしていたのだと気づきました。水を吸ったらもともどると聞いたので、私も家で試してみようと思いました。ちりとりの方にはコツがあるのだなと思いました。今日からそうじでほうきを使うときはこのテクニックを使ってみようと思いました。机や掃除機もいろいろテクニックがあっていっぱい勉強になりました。そうじさんはしほりにくかったのですが、教えてもらった通りにしたらしほりやすかったです。



### お願い

### 家業体験学習の実施について

昨日、家業体験のお願い文書を配付しました。毎年お願いしていることですが、今年度は、新型コロナ感染症も伴い例年のようにお願いできる状況にはないことは承知しています。しかし、子ども達の成長過程で貴重な体験でもあり、働く事、将来を見据える事に大きな意義を感じています。

ご理解を頂き、家業体験学習予定票を、7月10日（金）まで提出していただけますようお願いいたします。

どうしても都合がつかない場合は、学校で対応を試みますので、票の下の欄に○印を記入の上、ご提出願います。